



まつなが たみお 議員

認知症の市町村計画の策定は

町長 認知症対策を推進していく

超高齢化社会の中で、認知症の人が増えても、住み慣れた地域で安心して暮らせるような社会の仕組みづくりを急がねばならない。

問 認知症の調査は行っているか。

答 調査は行っていない。介護認定や地域包括支援センターの相談の中で対応している。

問 認知症基本法が、今年1月に施行された。当町の基本計画への考えは。

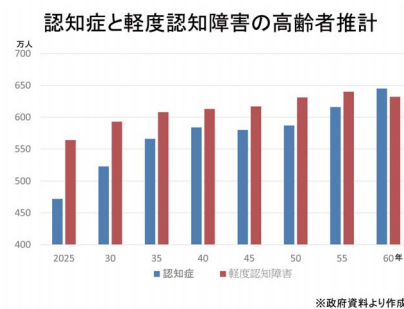
答 次期養老町介護保険計画と一体的に「養老町認知施策推進計画」を盛り込むことを検討している。

問 認知症地域支援員の配置と活動は。

答 地域包括センター内に正職員1名と会計年度任用職員1名を配置している。関係機関と連携し、地域支援体制づくりや認知症の人や家族を支援する相談業務等を実施している。

問 認知症サポート制度の現状と活用は。

答 平成20年度から認知症サポートを育成し、延べ2686名が受講された。昨



災害時の弱者対策は

町長 支援体制の構築を推進する

大規模地震などの災害時、避難で配慮が必要な「災害弱者」は少なくない。迅速に避難できる支援体制の整備が必要である。

問 避難行動要支援者名簿の作成及び名簿の活用は。

答 災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者の名簿を作成している。定期的に民生委員や各地区の自主防災隊の関係者へ情報提供している。

問 災害弱者の避難場所の確保と対策は。

答 指定福祉避難所（白鶴荘、保健センター）と連携し避難場所の確保に努める。要配慮者ごとに個別支援が必要であり、個別避難計画の作成が重要である。

問 関係団体との連携及び災害時の対策は。



指定福祉避難所 保健センターと白鶴荘



はやし ゆりこ 議員

マイナ保険証普及と利用促進は

町長 広報よろう等でPRしている

マイナ保険証を利用することで、医療機関等に受診した際に、患者本人の薬剤や診療データに基づくより良い医療が提供される。

問 利用促進に向けた取組は。

答 マイナ保険証の広報チラシを渡し、健康保険証として登録希望された時は、窓口で利用登録の補助を行い、マイナ保険証の紹介をしている。

問 交付申請者本人が受け取りできない場合は。

答 病気等でやむを得ず役場に出向くことが困難であると認められるときは、受け取る際に必要となる本人確認の書類等があるため、個別対応となり、代理人を通じてマイナカードを受け取ることができる。

問 高齢者のマイナカード取得支援は。



マイナンバーカード

答 役場窓口にて交付申請用紙を記入し、写真撮影後、町より郵送にて交付申請書を送る取得支援を行っている。

問 施設等でのマイナカード取得支援は。

答 施設内での写真撮影場所の確保等、施設事業所との協力が必要となる。施設事業所から依頼後、依頼先施設へ職員が出張し、申請を受け付ける。

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 113

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和5年12月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 地域振興イベントは **答** 町民参加イベントを計画する

こうなりました

養老町では、令和6年度に、町民の皆様とともに、「人があつまり 楽しく生きがいのあるまち」の実現を目指して町制施行70周年記念事業を実施しています。

令和6年4月から令和7年1月までの10ヶ月間に、記念式典をはじめ、町が主催する冠事業を17事業、各種団体等が主催する冠事業を35事業、町民が自ら企画する事業を15事業の合計68事業を実施し、延べ54,000人以上の方に参加いただくことができました。

記念事業は令和7年3月まで行われます。



主な町制施行70周年記念事業と参加者数

事業名	開催日	場 所	参加者数
高田祭	R 6. 5. 18(土)・19(日)	養老町高田商店街	約10000人
養老フェスタ2024	R 6. 10. 19(土)・20(日)	町総合体育館・多目的広場	約16500人
養老町制施行70周年記念式典	R 6. 11. 3(日)	養老町民会館	約450人
Christmas Market in Yoro Park	R 6. 12. 6(金)～8(日)	岐阜県こどもの国 なかよし広場一帯	約6000人

これから開催される町制施行70周年記念事業

事業名	開催日	場 所
令和6年度養老町教育・文化フォーラム	R 7. 2. 8(土)	養老町民会館
軽トラSDGsマルシェ	R 7. 3. 29(土)	養老公園内臨時駐車場